

令和2年4月9日

各位

一般財団法人 霞ヶ浦成人病研究事業団
健診センター

新型コロナウイルス感染症に関する対応について (上部消化管内視鏡検査)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当事業団の健診事業につきまして格別なご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大において、内視鏡の専門学会から緊急性のない上部消化管内視鏡検査（以下、内視鏡検査）については延期を含めて検討するよう提言されております。

ウイルスは咳やくしゃみによる飛沫や手や指の接触により感染します。内視鏡室では感染防止のため、マスクとアルコール消毒は徹底しておりますが、前処置の操作や内視鏡による刺激により、細心の注意を払っていても、咳やくしゃみが起こりえます。

ご自身が咳やくしゃみをせずに内視鏡検査を終えたとしても、ご自身より前に咳やくしゃみをされた方がいると長い時間小さな飛沫が漂い続け、そこにウイルスが侵入していると感染がおこる可能性があります。

よって、新規の内視鏡検査予約、また既にご予約をされた方にも内視鏡検査ではなく、上部消化管 X 線検査（以下、X 線検査）による検査をお勧めしております。

また、内視鏡検査受診の際は上記ご案内をご了承のうえご受診いただきます。

内視鏡検査につきましては、検査の延期・中止または X 線検査への変更をご考慮いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白